

## 第1回留萌市公共施設整備検討会議における意見

### 1. 検討会議の設置要綱について

- ・第1条に記載の「立地誘導」について、誘導という文言はなくてもよいのではないか。(〇〇委員)
- ・第6条に記載の「所定の手続」について、公募に応じた、もしくは市長推薦の場合の扱いを但し書きとして加えてはどうか。(〇〇委員)

### 2. 検討の進め方について

#### (1) 検討の枠組みについて

- ・周辺地区整備まで含めると検討が拡大する方向にある。議論の枠組みを整理する必要がある。(D)
- ・利用者や機能など、検討の視点の絞り込みが必要。(D)

#### (2) 意見聴取の対象と方法

- ・利用団体や若者、主婦など幅広く市民の声を聴いてほしい。ワークショップを複数回開催、委員の横の繋がり活用の活用など数多くの意見聴取に機会が必要。(A)
- ・これからの世代からの意見を聴取することが必要。これを今後のまちづくりのビジョンに活かしていくことが必要。(D)
- ・今後の会議、ワークショップでは、女性や子育て世代からの視点も必要。会議時間も多くの人が集まりやすい設定としてほしい。(D)
- ・子育て世代からの声を反映する機会を設けることが必要。(D)
- ・今回あげられた課題と再度、検討会議などで検討することが必要。(D)

#### (3) その他

- ・体育館、公民館、ホールなども視察して議論の参考としたい。(D)
- ・防災の観点から、庁舎の配置に係る議論も同時に行った方が良い。(B、D)

### 3. 立地場所について

- ・複数の立地候補地から駅周辺地区に絞り込むプロセスが重要と考える。(〇〇委員)
- ・施設の立地場所をどこにすべきかの議論が大切である。20年～30年先を見通して市民が集まりやすい場所であるべき。立地場所は、国道沿い、バス路線沿線、風向き考慮した位置などが考えられる。(A)
- ・津波・洪水の浸水深などの想定を伝えた上で議論をすべき。(A、C)
- ・旧留萌高校の利用も検討の俎上に乗せてもよいのではないか。(D)
- ・JR廃線後の新たな留萌の玄関口として、駅周辺地区への立地に賛成 (C) ※
- ・駅前周辺地区を立地場所とする場合、施設の立地がまちの課題解決に結びつくなどのビジョンを示すことが必要 (A、D) ※

### 4. 施設の建替え・複合化の考え方

#### (1) 建替えの考え方

- ・耐用年数のみならず利用状況や施設特性なども考慮することが必要。(C)

- ・公民館かスポーツセンターのどちらかは現地建替で良いのではないかと (B) ※
- ・企業や法人とのジョイントによる整備も検討材料となる。(D)
- ・中途半端な施設整備はよくない、思い切った施設整備を行うべき。(C) ※

## (2) 複合化の考え方

- ・社会教育施設の複合化は運営の効率化の観点からも必要。(A)
- ・文化センター、公民館、スポーツセンターに限らず、文化的機能は図書館と一緒にするなど、類似機能を集約するという考え方もある。(A)
- ・対象施設として、「ふるも」についても考えるべき。(A)
- ・社会教育施設に学校施設を合築する考え方もある。(D)
- ・社会教育施設のみならず、庁舎や子育て施設など公共施設も対象に考えていく必要があるのではないかと。(D)
- ・文化施設と体育施設が一体でなくてもよいのではないかと。整備費について単独と複合の検討も必要。(B)

## 5. 施設への導入機能

- ・合宿等に利用できる温浴施設機能、コンベンション機能などが考えられる。(A)
- ・400人規模の集会・会議などができるコンベンション機能も必要。(A)
- ・複合施設へのバスターミナル機能、コンベンション機能の導入。(C)
- ・社会教育施設のみならず公共交通としての拠点機能の併せ持ってもよいのではないかと。(D)
- ・JR 廃線为前提とした場合、バスターミナルとの連動が必要。(B)
- ・駐車場機能は重要。(C) ※
- ・ホールなど導入機能の規模については、利用者数のみならず、将来の活用方法も踏まえた検討が必要。(D) ※
- ・バレエの利用場所が使用しにくい、鏡の配置も考慮して欲しい。(B)
- ・運営に係る負担軽減のために、施設内に収益施設の導入も必要。(A)
- ・施設機能について、多目的利用は、利用に結びつかない場合はあるので、利用目的の絞り込みという視点も必要。(D)
- ・人を集めるという観点から、例えば高台地区の市営住宅を施設周辺に移転整備することも考えられる。(A)

## 6. 道の駅、船場公園との連携

- ・道の駅は税収増につながるような施設となるよう慎重に議論を進めてほしい。(〇〇委員)
- ・道の駅のチャレンジショップは、客の入込等を踏まえて定期的な入替を考えた方がよい。出展者には市の考え方などを十分に説明することも必要。(A)
- ・道の駅との連動をどのように考えるかが課題。(C)
- ・船場公園との連携と考えた場合、交流人口増加が期待できるような施設整備が必要。(D)

## 7 現施設の跡地活用

- ・現施設の跡地活用も課題 (〇〇委員)
- ・「ふるも」に防災施設を整備するのではなく文化センターを活用する方法もある。(A)

## 8 今後の検討資料

- ・駅周辺地区への立地誘導をイメージできる図面がない。次回資料には駅周辺地区の活用イメージがわかる資料が欲しい。(B)
- ・駅周辺地区の津波想定や防災拠点となりうるのか、駐車場がどの程度確保できるか、駅周辺を留萌の玄関口とするための議論を行うためには、駅周辺地区の活用できるエリアなどの図面を示して欲しい。(C)
- ・施設利用状況について、市民利用のみならず、市外からの利用状況もわかる資料がほしい。(D)
- ・駅の活用を前提とした際の想定される費用負担に係る資料もつけて欲しい。(B)

全体会議での意見（質問除く）、グループ代表の発表内容を中心に整理。代表発表以外に追加意見は※で追記